

令和5年度 5歳児 「運動会リズム表現」

(令和5年度実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字、活動内容によって変えやすい箇所を網掛けにて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 設定の理由

一つのお話をテーマにし、様々な登場人物になって学年集団で取り組む運動会リズム表現を、3歳と4歳で2回経験してきている。様々な登場人物になることで、なりきって遊ぶことを楽しんだり、具体的な場面を思い浮かべながら、動き方や話し方などを考えて身体で表現することを楽しみ、登場人物の気持ちを感じたりしてきている。また、いろいろな動きを通して身体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、運動用具を使って、できるようになりたい、上手になりたいなどの気持ちをもって挑戦したりすることを経験してきている。さらに、5歳児がブリッジや側転、**より高い多く打つカエルの足打ち**等、様々な動きに挑戦してきた成果を見る機会を作り、5歳児に対する憧れの気持ちをもったり、一緒にしてみる機会を作り、自分達もできるようになりたいと期待したりしている。このような経験をしてきているため、運動会の話をする、「ブリッジできるよ。」「側転やってみよう。」などの声が聞かれる。

5歳1学期の間、好きな遊びをする中でいろいろなごっこ遊びをし、いろいろな役になりきって遊ぶ姿が見られている。また、学級集団で遊びを作っていくことも楽しんできている。また、園庭の玩具や一輪車・竹馬などの運動用具をやってみようとして挑戦する姿が多く見られている。

運動会で取り組むリズム表現の中で、発達に応じた様々な動きに挑戦し、少し難しいことができるようになっていくことで、子どもの達成感から自信をもち、さらに次の目標に向かって挑戦していこうとする意欲を育むことができる。物語は、自分達でイメージを膨らませて作り出す余地をつくっておくことで、様々な登場人物の気持ちを考えて、より深く心情を理解することにつながり、自分達が作り上げたという実感を伴うことができる。リズム表現の様々な場面で、子どもが考えて作り出す機会を保障したい。また、学年のみんなで競技的な活動に取り組み、一緒に必要なルールを考えて作っていくことで、自分達で必要なルールを作り出す経験を保障したい。

そこで、5歳児のリズム表現では、是非今の時期に挑戦させたい動きかつ挑戦したいと思う動きを提示し、子どもの挑戦したい気持ちを刺激し、できるようになりたいと決めた動きについては諦めずにやり遂げるところまで支えていく。~~また、縄やボールなどを使った遊びも取り入れ、道具に合わせた様々な動きを経験する機会を増やしたい。~~そして、物語については、様々な動物が生活する世界で、その違いや特徴に触れ、いろいろな個性があることやそれぞれの素晴らしさを感じたり、嬉しさや悔しさ、寂しさを感じたり、自分や友達の気持ちを考え、自分がどう行動すべきかを考えたり、なりたい自分に向かって頑張ったり、自分と向き合ったり、いろいろな個性のある仲間と共に過ごす嬉しさや仲間を信じるよさを感じたりするものを選んでいく。登場する動物になりきって登場する動物の気持ちを感じたり、学年のみんなと話をし、自分達でイメージを膨らませたり、登場人物の動きや物語の展開に合わせて、挑戦しているブリッジや側転、**より高い多く打つカエルの足うち**などの運動~~や運動用具を使った動き~~を取り入れる場面を決めたりして、学年のリズム表現を作りあげていきたい。さらに、少人数の友達と表現やダンス等をつくることや、ルールのある遊びを作っていくことを通して、一緒に動きやルールを考えたり決めたりし、より自分達で作る満足感を味わえるようにしたい。

3. ねらい

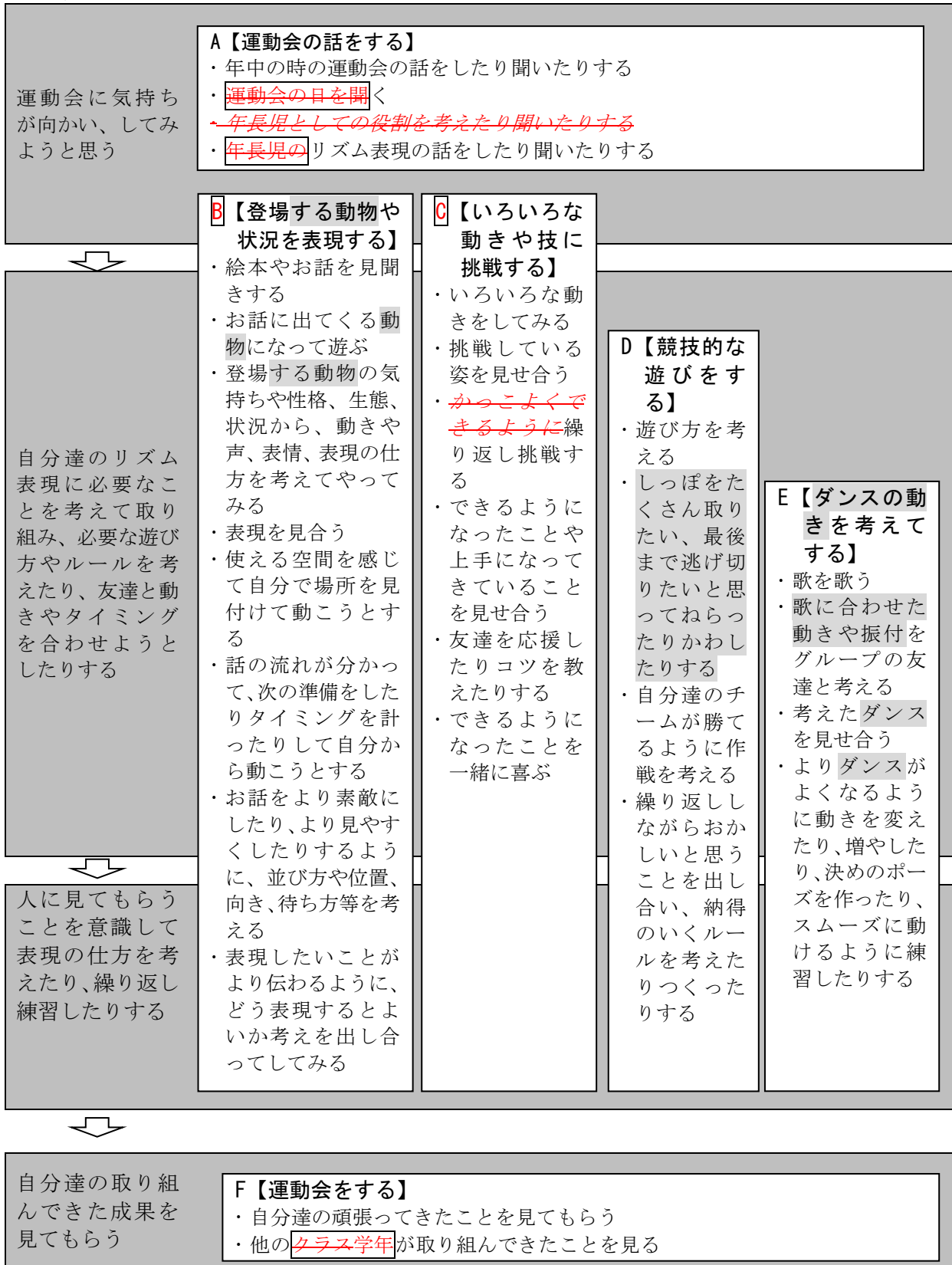
- ① ブリッジや、側転、**より高い多く打つ**カエルの足うち、**跳び箱**等ができるようになりたい、もつとうまくできるようになりたい、勝負に勝ちたい、皆でお話を素敵なものにしたい、お家の人に頑張りを見てもらいたいなどと目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続け、繰り返し挑戦しようとする。
自ら決める・選ぶ問題を認識する
- ② 自分の考えたことやできるようになったこと、上手になっていること、友達と一緒に遊び方や動き方を考えたことから、前とは違う自分を感じて自信をもったり、実現したいことに向けて頑張ったことややり遂げたことに満足したりする。
自分に満足する自分を客観的に把握する
- ③ 自分の思い通りにしたい、うまくいなくて悔しいなどの自分の気持ちを、友達の気持ちや様子を感じたり、友達や先生に励まされたり、先生から周りの状況を知らされたり、目指す自分に照らし合わせたりして、切り替えようとして、納得のいくところに落ち着けようとしてする。
気持ちをコントロールする
- 年長である自分を意識したり、友達や先生の行動や話から振り返ったりして、自分のしたことのよしあしからどう取り組んだらよいか考え、その姿に近付こうとする。
よりよい自分に向かう自分を客観的に把握する問題を認識する豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ④ 教えてくれる友達や応援してくれる友達の存在を感じ、助けてくれる友達と一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じる。
他者という喜びを感じる
- ⑤ 友達と一緒にあって、できるようになったことやうまくいったことを喜んだり、うまくいかに悔しがったりし、仲間とのつながりを感じる。
- ⑥ みんなでお話の世界をつくり出したり、グループの友達と踊りをつくり出したり動きを合わせて踊ったりする楽しさを感じる。
- ⑦ いろいろな友達の表現や考えのよさや**気持ち**、**得手不得手**、**頑張り**に気付いたり、認めたりする。
他者のことを知る
- ⑧ 友達の表現や頑張りに対して感じたことを伝えたり、お話や表現、ダンスをよくするために考えたことを、相手に伝わるように**言葉**を足したり**言い換え****身振り手振り**を交えたりして伝えようとする。
自分のことを伝える
- ⑨ 友達の様子を見て、分からないことを教えてあげようとして、したいことが思うようにできず困っている友達を見て自分が感じているコツを教えたり、友達が自分でできるようにどこまで手伝ったり教えたりしたらよいか考えようとして、挑戦している友達を励ましたりしようとする。
他者のことを考えて行動する
- ⑩ お話やダンスを素敵なものにするために、また、みんなが楽しく納得できるように、自分ができるところを見つけてしようとして、お話の展開や場の使い方、表現の仕方、勝負場面の遊び方やルール等を友達と一緒に考えたり、試して振り返ったり、決めたりしようとする。
人とものごとをすめる問題を認識する豊かに発想し、追求の手立てを構想する実行し、結果をもとに判断を下す
- ⑪ バランスを崩したり勢いがついたりして倒れたときに痛くないように、**跳び箱**や**ブリッジ**や側転等はクッションになる芝生やマットでしよう場所を選ぶ。
身を守る自分を客観的に把握する
- ⑫ 友達にぶつかって痛い思いをしたり、友達に痛い思いをさせたりしないように、**側転**や**跳び箱**や**カエルの足打ち**をする時、縄などを使う時は、広い空間を見付けたり、向きを揃えたり、周りの人やものに注意を向けて確かめたりしようとして、危なかったことを振り返って危なくないようにしようとしてする。
- ⑬ ブリッジや側転、**より高い多く打つ**カエルの足うち、**跳び箱**、**縄**や**ボール**などを使った動きをして、手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方、道具に合わせた体の動かし方や使い方をいろいろ試したり、コツをつかんだり**しよう**とする。
身体を操作する
- ⑭ 相手の位置や動きを見て、走るスピードや向きを変えたり、身を交わしたりして、自分の身体の動きを調節**しよう**とする。
- ⑮ ブリッジや側転、**井足タヌ**等をして、身体が反る感覚や逆さになる感覚、顔の向きや腕で身体を支える感覚、回転する感覚を感じ**たり、つかんだり**する。
- ⑯ 手足を大きく伸ばして、身体の傾きを調節したり、軸足で踏ん張ったりしてバランスをとり続けようとする。
- ⑰ いろいろな言い回しの表現を感じたり、イメージを膨らませていろいろな動物が住むサバンナの情景を思い浮かべたり、展開を楽しんだりする。また、いろいろな性格や特徴をもった他者の素晴らしさを感じたり、そのよさを認める気持ち、自分や友達の嬉しさや悔しさや寂しさなどのいろいろな気持ち、仲間と共に過ごす嬉しさなど登場する生き物の気持ちを感じ取ったり考えたりしようとする。
文芸に表す
- ⑱ 登場する生き物の気持ちや性格、生態、状況から動き方や話し方、表現の仕方を考えたり友達の表現を見たりしながら、表現することを楽しむ。
身体の動きに表す関連付ける問題を認識する豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑲ ピアノのリズムやテンポを感じ、それに合わせて素早くやゆっくり走る、高く跳ぶ、さっと止まる、はずむようにギャロップや**スキップ**をする、やわらかく動くなどすることを楽しむ。
- ⑳ 歌詞やリズムから広げたイメージを動きで表現することを楽しむ。
演出に表す問題を認識する豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ㉑ 自分達のお話や表現をより素敵なものにしようとして、お客さんに見てもらおうことを意識したりして、並び方や向き、待ったり出たりする位置や待ち方等を考えようとする。

- ②1 したい表現に適当な人数を考えたり、公平になるように人数を揃えたり、勝負を決める時に数を数えたりするなど、数を使って考えたり判断したりしようとする。
- ②2 友達との距離や位置を考えて、並んだり、円になったり、広い場所を見付けて自分の場所を決めたり、逃げたり追ったりしようとする。

数・量をとらえる
比較する

空間をとらえる
比較する

4. 展開



A【運動会の話をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・年中の時の運動会の話をしてたり聞いたりする ・<u>運動会の日を開く</u> ・<u>年長児としての役割を考えたり聞いたりする</u> ・<u>年長児の</u>リズム表現の話をしてたり聞いたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動会のイメージを膨らまし、楽しみにする。 ○<u>年長児である自分を意識して運動会にどう取り組むかを考える</u>④ ○<u>運動会で挑戦したい技を出し合い、やってみようと思う</u>④ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動会で取り組んできたことや、自分達が見てきた年長児のことを思い出せるように、年少・年中の時にしてきたことや、年長児がしていたことを尋ねる。 ◎<u>年長児である自分を意識してどのように取り組んだらよいかを考え、自分達もしてみようと思えるように、これまでの年長児もできなかった難しい技に挑戦してきて全員できるように頑張っていたことや、自分達でいろいろな事を考えてリズム表現を作ってきたことを伝える。</u> ◎<u>ブリッジやより高い多く打つかエルの足うち、側転、跳び箱など自分の挑戦したい技に挑戦しようと思えるように、昨年を振り返り、挑戦したい技を尋ね、これまでの年長児もできなかった難しい技に挑戦してきて全員できるように頑張っていたことや、自分達でいろいろな事を考えてリズム表現を作ってきたことを伝えたり、頑張れば必ず出来るようになることや不安な子どもには教師も一緒に練習するや、友達も助けてくれることを伝える。</u>

B【登場人物や状況を表現する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を見たり、お話を聞いたりする ・お話に出てくる登場人物になって遊ぶ ・登場する動物の気持ちや性格、生態から、動きや声、表情を考えてしてみる ・友達と表現を見合う ・使える空間を感じて自分で場所を見つけて動かそうとする ・話の流れが分かって、次の準備をしたりタイミングを計ったりして自分から動かそうとする ・お話をより素敵にしたり、より見やすくしたりするように、並び方や位置、向き、待ち方等を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○皆でお話を素敵なものにしたいと思い、そのためにどうすればよいか考え続けようとする① ○自分の考えたことや自分や友達と一緒に考えた遊び方や動き方を先生や友達に見てもらったり褒めてもらったりし、前とは違う自分を感じて自信をもつ② ○自分の思い通りにしたい気持ちを、友達の気持ちや様子を感じたり先生から周りの状況を知らされたりして、切り替えようとしていたり、納得のいくところに落ち着けようとしていたりする③ ○<u>年長である自分を意識したり、友達や先生の行動や話から振り返ったりして、自分のしたことよしあしから、どう取り組んだらよいかを考え、その姿に近づこうとする</u>④ ○お話の内容を意識し、みんなでお話の世界をつくりあげ、一緒にやっていく楽しさを感じる⑥ ○友達生き物の特徴を捉えた動きや感情がこもった表現を見て、感じたことを伝えたり、お話や表現、ダンスをよくするために考えたことを相手に伝わるように<u>言葉を足したり言い換え</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◎皆でお話を素敵なものにしたいと思えるように、どんなお話やリズム表現にしたいか必要に応じて尋ねる。 ◎自分の考えたことや友達と一緒に考えたことに前とは違う自分を感じて自信をもてるように、以前の考えと比較してよいと感じている点や変わった所を具体的に褒めたり、驚いたりする。 ◎自分の思い通りにしたい気持ちを切り替えたり、納得のいくところに落ち着けようとしていたりするように、自分の振る舞いによる友達の様子を見<u>せたり聞きする機会を設けかせ</u>たり、周りの状況を知らせたりする。 ◎<u>年長児である自分を意識して取り組めるように、考えて動いている姿を褒めたり、ふざけているときは自分の行動を振り返らせたりする。</u> ◎みんなで話し合いながらお話の世界をつかっていけるように、考えたことを出し合う場をもち、考えのよさを認めて取り入れたり、友達の考えに対してこうした方がいい、これを加えた方がいいなど、いろいろな意見がないか尋ねながら場面や動き、隊形、流れをつかっていったりする。 ◎友達の考えたことや表現を見て、友達の考えの面白さやよさなど感じたことや、自分の考えたことを伝えられるように、友達の考えたことを見せる場や自分の考えを伝える場を<u>もったり、友達の考えを聞いた上でどう思うか尋ねたりする</u>。

<p>身振り手振りを交えたりして伝えようとする⑧</p> <p>○お話を素敵なものにするために、自分ができるところを見つけてしよしたり、お話の展開や場の使い方、表現の仕方等を友達と一緒に考えたり、試して振り返ったり、決めたりしようとする⑩</p> <p>○絵本を見たり、お話を聞いたりして、登場する生き物の気持ちを感じる⑬</p> <p>○登場する生き物の気持ちや生態、状況から、動き方や話し方、表現の仕方を考えたり、友達の動き方からヒントをもらったりしながら、表現することを楽しむ⑭</p> <p>○ピアノのリズムやテンポを感じ、それに合わせて高く跳ぶ、さっと止まる、はずむようにギャロップやスキップをする、やわらかく動くなどすることを楽しむ⑮</p> <p>○自分達のお話や表現をより素敵なものにしよしたり、お客さんに見てもらおうことを意識したりして、並び方や向き、待ったり出たりする位置や待ち方等を考えようとする⑯</p> <p>○したい表現に適切な人数を考えたり、必要で数えたりして、数を使って判断しようとする⑰</p> <p>○友達との距離や位置を考えて、並んだり、円になったり、広い場所を見つけて自分の場所を決めたりしようとする⑱</p>	<p>◎自分ができるところを見つけてしよと思えるように、気付いたことから考えを話したり、次の動きを率先して行ったりする等の姿を逃さず、その姿がお話を素敵なものにするにどうよと感じたか具体的に言葉にしよたりする①。</p> <p>◎友達と一緒にお話を素敵なものにしよと考えられるように、お話の展開や場の使い方、かけ声を出す等のアイデアが必要な場面で話し合いの場をもち、どうするか尋ねる。</p> <p>◎考えたことを試して振り返り決めることができるよう、考えを試すことを提案したり、試す様子を撮影して動画や静止画で見よる機会を設けよたり、試してみよどうだったか尋ねたりする。</p> <p>◎登場する動物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は、その気持ちを感じるために理解しておかなければならない言葉をゆっくりはっきりと読んだり、心情を表す言葉や情景での比喩表現はその心情に合った声色や声の調子で読んだりする。</p> <p>◎イメージを膨らませて話の展開を考えられるように、お話に出てくる言葉から想像できることを話したり、尋ねたりする。</p> <p>*登場する生き物の動きや生活、食べ物などの生態や、サバンナの状況が分かって表現することができるように、生き物やサバンナなどが描かれた絵本や図鑑、写真等の掲示を用意しておく。</p> <p>◎登場する生き物の生態から動きを思い浮かべてなりきれるように、食事や狩りなどの生活場面を切り取ってごっこ遊びをする機会を設ける。</p> <p>◎登場する生き物の気持ちや性格、場面設定から表情や動きを考えられるように、事前にどんな場面の何になって遊ぶのか話したり、登場する生き物の背景や性格、状況をお話の中で使われている言葉を使って話しかけたりする。</p> <p>◎友達の表現のよさを感じたり考えを取り入れたりできるように、友達の表現を見る場をもち、感じたよさや友達が考えていることを尋ねる。</p> <p>◎ピアノのリズムやテンポを感じ、それに合わせて動けるように、リズムやテンポに大きく変化をつけたり、その変化を分かりやすく弾き分けたりする。</p> <p>◎自分達のお話や表現をより素敵なものにするために並び方や向き等を考えられるように、どのような場面であるかや大切に表現したい気持ちはどのようなことかを尋ねて意識化する。</p> <p>◎お客さんに見てもらおうことを意識して並び方や向き等を考えられるように、自分たちの表現をお客さんの位置から見る機会を設けたり、教師がお客さんになって感じたことを伝えたりする。</p> <p>◎したい表現に適切な人数を考えたり、必要で数えたりできるように、複数の役が同時に登場しよ取りする場面を設定したり、人数の偏りを咬いたりする。</p> <p>◎友達との距離や位置を考えて隊形を変えられるように、その隊形で行よことを知らせよ必要な距離を考えさせたり、周りを見て位置を考える姿やとっている距離や決めた位置が何のためにどうよいかを言葉にしよ褒めたりする。</p>
---	---

C 【いろいろな動きや技に挑戦する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな動きをしてみる ・挑戦している姿を見せ合う ・かっこよくできるように繰り返し挑戦する ・できるようになったことや上手になってきていることを見せ合う ・友達を応援したりコツを教えたりする ・できるようになったことを一緒に喜ぶ 	<p>◎運動会で挑戦したい技を出し合い、やってみようと思う①</p> <p>◎ブリッジやより高い多く打つカエルの足うち、側転、跳び箱などができるようになりたい、もっとうまくできるようになりたいなどと目標をもち、繰り返し挑戦する①</p> <p>◎できるようになったことや上手になっていることを先生や友達に見てもらったり褒めてもらったりし、前とは違う自分を感じて自信をもったり、頑張ったことに満足したりする②</p> <p>◎うまくいかなくて悔しい気持ちを、友達や先生に励まされたり、目指す自分に照らし合わせたりして切り替え立て直そうとする③</p> <p>◎教えてくれる友達や応援してくれる友達の存在を感じ、助けしてくれる友達と一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じる④</p> <p>◎できるようになったことを一緒に喜んで喜び、仲間とのつながりを感じる⑤</p> <p>◎いろいろな友達の表現や考えのよさや得手不得手、頑張りに気付いたり、認めたりする⑦</p> <p>◎かっこよく動いていること（ブリッジやより高い多く打つカエルの足うち、側転、跳び箱など）をすごいと思って伝えたり、できなかったことに繰り返し取り組み、できるようになった友達の頑張りを褒めたり、できるようになったことを一緒に喜んだりする⑧</p> <p>◎したいことが思うように出来なくて困っている友達を見て自分が感じているコツを教えたり、挑戦している友達を励ましたりしようとする⑨</p> <p>◎バランスを崩したり勢いがついたりして倒れたときに痛くないように、側転やブリッジ、より</p>	<p>◎ブリッジやより多く打つカエルの足うち、側転など自分の挑戦したい技に挑戦しようと思えるように、昨年を振り返り、挑戦したい技を尋ね、頑張れば必ず出来るようになることや不安な子どもには教師も一緒に練習するや、友達も助けてくれることを伝える。</p> <p>◎挑戦してみよう、こんな風でできるようになりたいと思えるように、して見せたり、友達がする姿を見せたり、目標を聞いたりする。</p> <p>◎うまくいかなくても、もう少ししてみよう、諦めずに見せようと思えるように、励ましたり、どうしたらいいのか一緒に考えたり、頑張っている友達の姿を見せたり、友達も助けてくれることを伝えたりする。</p> <p>◎できるようになった、上手になったと感じ、前とは違う自分に満足できるように、頑張りを認めたり、動画を撮って以前と動きを比較したり、前とは違うところを具体的に褒めたり、一緒に喜んだりする。</p> <p>◎うまくいかない悔しい気持ちを立て直して挑戦しようと思えるように、友達の励ます声に気付かせたり、何度も頑張っている気持ちを認めたり、頑張った分だけ上達する必ずできるようになると励ましたり、できるようになりたいと思っていた気持ちを一緒に振り返り思い出させたりする。</p> <p>◎助けてくれる友達と一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じられるように、応援してくれている友達や傍で頑張っている友達の存在を知らせる。</p> <p>◎仲間とのつながりを感じながら練習できるように、誘って集まってやることを提案できるようにしたり、できるようになったことを一緒に喜んで周りに知らせたりする。</p> <p>◎いろいろな友達のよさや得手不得手に気付いたり、認めたりしようと思えるように、教師が友達の考えに関心をもって聞く姿を見せたり、友達の考えを聞いてどう思うか尋ねたり、以前と比べた姿を言葉にして知らせたりする。</p> <p>◎かっこよくできる友達を素敵だと思えるように、かっこよくできる友達を知らせ、素敵だと思えるところを具体的に褒めたり驚いたりする。</p> <p>◎友達の頑張りを褒めたり、伝えたりしようと思えるできるようになったことを一緒に喜んだりできるように、周りの友達に、できるようになりたいと思って頑張っている姿を見せたり、前と比べてよくなっているところや頑張ってきたことを知らせたり、できるようになったことを知らせて見せたりする友達の姿を見てどう思うか尋ねたり、伝えると相手が嬉しい気持ちになりそうなことを伝えたりする。</p> <p>◎したいことが思うようにできなくて困っている友達が自分ですることができるようになるために、自分ができるところをしようと思えるように、困っている友達を知らせたり、何かいい考えはないか、どこまで手伝わたら自分でできるようになりそうか尋ねたりする。</p> <p>◎安全に側転やブリッジ、カエルの足うちをするためにはどうしたらよいかを考えられるように、どんな危ないことがあるか、危ないことに対してどうした</p>

<p>高い多く打つカエルの足うちはクッションになる芝生やマットでしょうと場所を選ぶ⑪</p> <p>○友達にぶつかって痛い思いをしたり、友達に痛い思いをさせたりしないように、側転やブリッジや跳び箱をする時、縄やボールなどをを使う時は、広い空間を見付けたり、向きを揃えたり、周りの人やものに注意を向けて確かめたりしようとして、危なかったことを振り返って危なくないようにしようとする⑫</p> <p>○ブリッジや側転、より高い多く打つカエルの足うち、跳び箱、縄などをを使った動きをして、手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方や抜き方、道具に合わせた体の動かし方や使い方をいろいろ試したり、コツをつかんだりする⑬</p> <p>○ブリッジや側転、片足タヌ等をして、身体が反る感覚や逆さになる感覚、顔の向きや腕で身体を支える感覚、回転する感覚を感じたり、つかんだりする。⑭</p> <p>○大きく手足を伸ばして、身体の傾きを調節したり、軸足裏で踏ん張ったりしてバランスをとり続けようとする⑮</p> <p>○見てもらうことを意識して、用意や終わりのポーズ、する場所や向きを考えてしようとする⑯</p> <p>○広い芝生や道の上で、広い場所を見付けて自分の場所をとり、空間を意識して行動しようとする⑰</p>	<p>らよいかを尋ねる。</p> <p>○側転や跳び箱をする時や縄やボールなどをを使う時に、広い空間があるかどうか確かめられるように、十分な場所があるか尋ねたり、周囲を確かめている姿をほめたりする。</p> <p>○側転をするときに向きを考えられるように、進む方向やそのまま進むとどうなるか尋ねる。</p> <p>○危なかった時に、危なくなった理由が分かり気を付けられるように、どうして危なくなったのか尋ねたり一緒に考えたりする。</p> <p>○手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方や抜き方、道具に合わせた体の動かし方や使い方をいろいろに試せるように、友達がするのを見る機会を設けのやり方を見せたり、教師もやって見せたりする。</p> <p>○手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方や抜き方、道具に合わせた体の動かし方や使い方のコツをつかめるように、コツをつかんでいる友達に感じているコツを尋ねて聞く機会を設けかせたり、教師の感じているコツを知らせたり、身体を支えて感じ取る状況を作らせたりする。</p> <p>○顔の向き（見る場所）をつかめるように、見る場所を分かるように見せて示したり、友達の顔の向きを見る機会を設けせたりする。</p> <p>○腕で身体を支える感覚をつかめるように、手をしっかり開いて踏ん張っていることや肘がしっかり伸びていることを言葉にして伝え意識させたり、友達の支え方を見せたりする。</p> <p>○回転する感覚や身体が反る感覚を感じられるように、足やお尻をしっかり上げるように声をかけたり、身体で支えて上げたりする。</p> <p>○大きく手足を伸ばしてバランスをとる感覚がつかめるように、教師や友達の綺麗なポーズを見せたり、手足を支えて形を作ったりして、ポーズのイメージをはっきりとたせ、お話の登場人物の動きとして取り入れ、繰り返し挑戦する機会を設けて長く続けられるように励ます。</p> <p>○見てもらうことを意識して、用意や終わりのポーズ、する場所や向きを考えられるように、おうちの人が見てくれる場所を伝えたり、見ていて感じたことを伝えたりする。</p> <p>○空間を意識して動けるように、友達や物と十分離れているか尋ねたり、周りとの距離に応じて位置を変えていることを言葉にしを見て場所を決めていることを褒めたりする。</p>
---	--

D【競技的な遊び（しっぽとり）をする】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> 遊び方を考える しっぽをたくさん取りたい、最後まで逃げ切りたいと思ってねらったりかわしたりする 自分達のチームが勝つために 	<p>◎ 勝負に勝ちたい、しっぽをたくさん取りたい、しっぽを取られずに逃げたいなど、目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続けたり、繰り返し挑戦したりしようとする①</p> <p>◎ 自分達のチームが勝ったことや作戦がうまくいったことを一緒に喜んで喜んだり、負け</p>	<p>◎ 自分の決めた目標に向かって取り組めるように、その日の目標を尋ねたり、それを自分で振り返ったり実現に向かえたりする目標にできるようにさらに尋ねて具体的にしたり、目標に向かう姿を逃さず褒めて励ましたりする。</p> <p>◎ チームの友達と勝ったことや作戦がうまくいったことを一緒に喜んで喜んだり、負けたことを一緒に悔しがったりすできるように、教師も一緒に輪になったり夕</p>

<p>きることを見付けてする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達のチームが勝てるように作戦を考える ・繰り返ししながらおかしいと思うことを出し合い、納得のいくルールを考えたりつくったりする 	<p>たことを一緒に悔しがったりし、仲間とのつながりを感じる⑤</p> <p>◎自分達のチームが勝てるように、自分ができることを見付けてしようとする⑩</p> <p>◎みんなが楽しく納得できるように、勝負場面の遊び方やルール等を友達と一緒に考えたり、試して振り返ったり、決めたりしようとする⑩</p> <p>◎相手の位置や動きを見て、走るスピードや向きを変えたり、身をかわしたりして、自分の身体の動きを調節する⑭</p> <p>◎公平になるように人数を揃えたり、勝負を決めるときに数を数えたりするなど、数を使って考えたり判断したりしようとする⑳</p>	<p>ッチをしったり肩を組んだりなどをしてそれをするきっかけを、教師も一緒にそれらをするなどして作る。</p> <p>◎自分達のチームが勝つために、自分ができることを見付けてしようとするように、声をかけ合っ て一緒にねらったり、ねらわれていることを友達に知らせたり、応援したりするなど、チームが勝つために考えているよさを言葉にし褒めたり、何かできることはないか尋ねたり、教師が見付けたできることに気付くきっかけを与えたりする。</p> <p>◎ルールの必要を感じ、自分達でルールを考えられるように、最小限のルールを始めに話し合っ て決め、困ったことが起こったらその都度みんなでどうしたらよいか考える機会を設けるもつ。</p> <p>◎考えたルールがみんなにとって楽しく納得できるものになるように、それぞれの思いを聞いて納得が いっているか確かめたり、納得がいかないことがある時には、理由を聞き、どうしたらいいのか尋ね考 えさせたりする。</p> <p>◎考えたことを試して振り返り決めることができるよ うに、考えを試すことを提案したり、試す様子を撮影して動画や静止画を見 る機会を設けたり、試してみようか尋ねたりする。</p> <p>◎勝てるようにチームの友達と作戦をたてたり声を かけ合ったりできるように、作戦を考える時間をと ったり、声をかけ合っている姿や作戦通りしようとする姿を褒めたり、周りに知らせたりする。</p> <p>◎相手の位置や動きに合わせて狙ったり逃げたりし ようと思えるように、友達の動きをよく見て動いて いることを言葉にしたり、相手がどこにいるか尋ね たり、相手が迫ってきていることを知らせたりする。</p> <p>◎人数を揃える際のために考えられるやすいよ うに、それぞれ何人いるのか尋ねたり、数を揃えるためにど うしたらよいか一緒に考えたり試したりする。10 分のままとまりを作り、10未満の人数を調整するこ とを提案する。</p> <p>◎残った人数取ったり残ったりしたしほの数を比 べやすいように、どう数えたり並んだりすればよいか 尋ね、方法を一緒に考えたり試したりする。</p>
--	--	--

E【ダンスの動きを考えてする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・歌を歌う ・歌に合わせた動きや振付をグループの友達と考える ・考えたダンスを見せ合う ・よりダンスがよくなるように動きを変えたり増やしたり、決めたポーズを作ったり、スムーズに動けるように練習したりする 	<p>○自分達が考えたダンスを見てもらって頑張ったことに満足したり、褒めてもらって自信をもったりする②</p> <p>○グループの友達と踊りをつくり出したり動きを合わせて踊ったりする楽しさを感じる⑥</p> <p>○他のグループの考えたダンスを見て、よいところを見付けて伝えたり、考えた友達を素敵だと思った気持ちを伝えたりする⑧</p>	<p>◎自分達が考えたダンスを見てもらって頑張ったことに満足できるように、作る段階で工夫や苦労したところを言葉にしたり、それに向かった姿勢に関心しを褒めたりする。</p> <p>◎グループの友達と踊りをつくり出す楽しさを感じられるように、いろいろな友達が考えた動きが繋がってできてきていることを素敵に思うことを伝える。</p> <p>◎グループの友達と動きを合わせて踊る楽しさを感じられるように、動きが合ってきていることや合っていることを伝える。</p> <p>◎他のグループのダンスを見て、感じたよさを伝えられるように、グループで考えたダンスを見せ合う機会をもつ。</p> <p>◎他のグループの考えたダンスのよいところを見付けたり、考えた友達を素敵だと思ったりした気持ちを伝えられるように、よいところや素敵なところを伝える場がもつことを見合う前に知らせる。</p>

	<p>○ 自分の考えたことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりして、グループの友達と一緒にダンスの動きを考えたり、試して振り返ったり、一緒に決めた動きで友達と合わせて動こうとしたりする⑩</p> <p>○ 歌詞やリズムから広げたイメージを動きで表現することを楽しむ⑪</p> <p>○ 見てもらうことを意識して、向きや動き方、ポーズなどを考えてしようとする⑫</p>	<p>*考えを伝え合いながらダンスを作っていけるように、5人程度のグループにする。</p> <p>◎友達の考えも聞きながらダンスを作っていけるように、一人の考えで決まっている際には、皆が納得しているか、他児の意見はないか尋ねる。</p> <p>◎ 歌詞やリズムから広げたイメージを動きで表現することを楽しめるように、動きと歌詞やリズムをどう表現したのか尋ねたり、どう表現されていると感じたか、またその表現のよさを具体的に言葉にしたりする。</p> <p>◎ 見てもらうことを意識して、向きや動き方を考えられるように、お客さんが見てくれる場所や、客席から見て感じたことを伝えたりする。</p>
--	--	---

F【運動会をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<p>・自分達の頑張ってきたことを見てもらう</p>	<p>◎ 頑張って取り組んできたことに自信をもち、見てもらいたいところを意識しながら最後まで取り組み、やり遂げた満足感を味わう⑬</p>	<p>◎ やり遂げた満足感を味わえるように、これまでの頑張りと今日の頑張りを結び付けながら、頑張っていたこと、自信をもってやっていたことを褒める。</p>